

『だれかの笑顔のために』

ワン・フォー・オール100%!!

全力を出し切り、みんなで最高の運動会をつくりあげよう!

5月25日(土)は、菊水小学校運動会です。このタイトルは、児童が考えた今年の運動会のスローガンです。菊水小のこどもたちの輝く姿をぜひご観覧ください。

「One for all All for one」の日本語訳の多くは、「みんなは一人のために、一人はみんなのために」こう訳されると思います。でも、この訳は残念ながら間違っているとされています。どこが間違っているかといえば、後半の「All for One」の訳の部分です。「All for one」は「みんなは一人のために」ではなく、「みんなは一つの目的のために」だと考えるべきだと言われています。

「ウサギとカメ」

の童話は、みなさん知っていると思います。
どうしてウサギはカメに負けたのでしょうか?

次のような見方があります。

ウサギとカメでは「**見ているところ(目的)が違った**」ということです。

ウサギは何を見ていたのか。ウサギはカメを見ていました。ウサギの目的は、カメに**勝つこと**だったので。だから、ノロノロとやってこないカメに、油断をしてしまったのです。対するカメは何を見ていたか。ゴールを見ていました。カメの目的は、**ゴールにたどり着くこと**だったので。カメがウサギを見ていたら、昼寝をしているウサギを見て、自分も休んでしまったかもしれません。ところが、カメはそうしなかった。ゴールを見ていたからです。

実は、この「ウサギとカメ」の話には、続きがあります。

競争に負けたウサギは、カメにリベンジマッチを申し込んだのです。カメは、喜んで引き受けました。返事を聞いたウサギは、テレビや新聞などの報道機関に宣伝し、世紀のリベンジマッチとして大々的に報道してもらい、前回の名誉挽回をねらいます。レースの結果はウサギの圧勝でした。翌日の新聞には、報道陣に囲まれて得意満面のウサギの姿の後ろに、遅れてゴールしたばかりのガッツポーズをしたカメさんの姿が、小さく写っていました。新聞記事でその写真を見た他の動物が、「完敗したのに、なぜガッツポーズをしていたの?」と尋ねると、カメさんは答えました。



「だって、前回よりタイムがよかったから・・・」

本当の敵は、相手ではなく、自分自身なのかもしれませんね。

走るのがはやいからえらいのではなく、はやく走れるようになるための努力をしたからえらいのだと考えています。だから、一番になれなくても、走るのがおそくても、少しでもはやく走りたいと努力をしているこどもはすばらしいのです。一生懸命にがんばったこどもたちみんなを、しっかりほめてあげてください。



※別添で運動会の徒走・リレー選手名簿を本日配布しています。ご確認ください。